

横浜三塔物語

横浜三塔(キング・クイーン・ジャック)

横浜三塔の愛称は、昭和初期に外国船員がトランプのカードに見立てて呼んだことが由来と言われています。

「キング」神奈川県庁は、五重塔をイメージさせるスタイルで、昭和初期に流行した帝冠様式のはしりといわれています(1928年竣工)。

「クイーン」横浜税関は、イスラム寺院風のエキゾチックなドームが特徴です(1934年竣工)。

「ジャック」横浜市開港記念会館は、東南隅に時計塔、西南隅に八角ドーム、西北隅に角ドームを配しています(1917年竣工)。



神奈川県庁
(キング)



横浜税関
(クイーン)



開港記念会館
(ジャック)

横浜三塔を巡る物語 ～横浜三塔物語～



横浜三塔は、戦争等をくぐり抜け建ち続けてきました。いつしか船員達が航海の安全を祈り、これを目印に入港したと言われています。

この三塔ですが、実は一度に見ることが出来る場所は限られています。

「①赤レンガパーク」

「②日本大通り」

「③大さん橋」

この3つのスポットを1日で巡ると、願いが叶うという伝説があります。これが「横浜三塔物語」です。カップルで巡ると結ばれるという噂もあります。

この3つのスポットには目印(地図中の写真)が設けられています。皆さんも探して、少し幸せになりませんか。